



人権フェスタ2012 “いかた”



ありがとうの花がさくよ♪



オープニングを飾ってくれた三机小学校児童による合唱

ふれあいいいかた

生涯学習だより

明けましておめでとうございます。

2013年がスタートします。

ふるさとを愛し、豊かな心を育てる町を目指して、地域・家庭・学校が一体となって頑張っていきましょう。

12月9日（日）瀬戸町民センターにおいて、人権フェスタ2012 “いかた” を開催しました。詳しい内容は、来月号でご紹介します。

1 月号

平成25年1月1日発行 No.93

■発行 伊方町教育委員会

■編集 教育委員会事務局 生涯学習室



伊方町教育委員会 教育長
阿部 松 壽

新年あけましておめでとうございませう。

新年あけましておめでとう
ございます。

謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

皆様には、日頃より本町の
教育振興に多大なるご支援と
ご協力をいただいております
こと、心より感謝申し上げます。

伊方町の教育におきまして
は、児童生徒がふるさとに誇
りを持ち、夢と希望にあふれ
心豊かでたくましく成長する
よう、基礎、基本をしっかり
身に付けさせ、自ら学び、自
ら考える力、確かな学力を育
むことができるよう児童生徒
一人ひとりに応じたきめ細か
な指導の充実に、学校と一体
となって今後もしっかりとま
いります。

また、施設整備において
は、学校再編計画に基づき、
保護者、地域住民の皆様方
のご理解をいただきながら、よ
りよい教育環境の整備に向け
て努めていることをご報告し
ます。

社会教育については、町民
一人ひとりが生きがいとゆと
りを持って、健康で心豊かな
生活を送るため、生涯学習の
役割は、きわめて大きいもの
があります。少子高齢化社会
や高度情報化の進展等、目ま
ぐるしく変化する今日、人の
価値観も多様化するなか、い
い人生を送るため、いつでも・
どこでも・だれでも・なん
でも自分に合った方法で学び続
けることができるよう学習へ
の意欲、生きがいづくり、人
権尊重の町づくり等に努め、
今後とも積極的に推進してい
ります。

社会体育では、生涯にわた
って活力ある生活が送られるよ
う、各種スポーツ大会の開催、
共催、後援、助成を行うこと
に、町民の皆さんの健康保持・
増進に努めました。

これからもスポーツ推進委
員や関連団体と連携を深めな
がらスポーツの普及・振興を
図り、大会への参加等につ
いても支援をしてまいりますの
で、町民の皆さんの積極的な
ご参加ご協力をお願いいたし
ます。

また文化教育については、
長い歴史の中で育まれ、守り
伝えられてきた文化や歴史的
遺産を保持伝承していくこと
は、歴史や文化を正しく理解
するために欠くことのできな
い貴重な歴史的財産であり、
地域文化の向上発展の基礎を
なすものであります。町見郷
土館では調査研究成果の展示
をはじめ、伝統文化の継承等
についても町民の多くのの方
のご支援をいただきながらすば
らしい成果をだしています。
今後とも文化財の保護等には
引き続き力を注いで行きます
ので、ご協力をお願いいたし
たいと思います。

皆様におかれましては、今
後とも教育行政に深いご理解
とご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆
様のご多幸を心からお祈り申
し上げ、年頭のあいさつとい
たします。

また文化教育については、
長い歴史の中で育まれ、守り
伝えられてきた文化や歴史的
遺産を保持伝承していくこと
は、歴史や文化を正しく理解
するために欠くことのできな
い貴重な歴史的財産であり、
地域文化の向上発展の基礎を
なすものであります。町見郷
土館では調査研究成果の展示
をはじめ、伝統文化の継承等
についても町民の多くのの方
のご支援をいただきながらすば
らしい成果をだしています。
今後とも文化財の保護等には
引き続き力を注いで行きます
ので、ご協力をお願いいたし
たいと思います。

皆様におかれましては、今
後とも教育行政に深いご理解
とご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆
様のご多幸を心からお祈り申
し上げ、年頭のあいさつとい
たします。

皆様におかれましては、今
後とも教育行政に深いご理解
とご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆
様のご多幸を心からお祈り申
し上げ、年頭のあいさつとい
たします。



謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

教育委員長 森 清
教育委員 森 元 修 治
教育委員 土 居 由 美
教育委員 山 口 千 穂

「いかた学童クラブ」「おおく学童クラブ」参加児童募集のお知らせ

【目的】

放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、平日午後1時(1時以降下校の時間による)から午後6時まで、長期休業(夏・冬・春休み)については午前9時30分から午後6時まで学童クラブを開設し、仲間作りを通して児童の健全育成を図ります。

【実施期間】

平成25年4月1日(月)から平成26年3月31日(月)まで
ただし、土・日曜日、休館日(祝日・年末年始等)を除く

【実施場所】

(いかた学童クラブ) 伊方町生涯学習センター3階
児遊館内 放課後児童クラブ室
(おおく学童クラブ) 大久小学校内 1階学童クラブ室

【対象者】

町内の小学校に在住する1年生から3年生のうち、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童

【定員】

概ね30名まで(応募者多数の場合は、別途選考)

【申込場所】

(いかた学童クラブ) 伊方町生涯学習センター内 3階
児遊館 電話38-0211 内線855
(おおく学童クラブ) 伊方町教育委員会事務局
生涯学習室 電話38-2661

【申込期限】

平成25年1月31日(木)

【負担金】

1ヶ月 2,000円(おやつ代等)

【留意事項】

- ①児童の送迎は、各家庭で責任を持って行うこと。
- ②申込者は、スポーツ安全保険(自己負担800円)に加入すること。
- ③万一、事故等が発生しても町は責任を負いません。

体育功労表彰該当者は申請を！ (2月1日(金)まで)

2月開催予定の伊方町生涯学習推進大会において、体育功労者表彰を行います。次の表彰基準に該当される方は、教育委員会に備え付けの申請書に関係資料を添付し、2月1日(金)までに提出をお願いします。詳細についてはお問い合わせください。

【表彰基準】

- (1) 個人
 - 個人競技で国、県、公益財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝者
 - 個人又は団体競技の選手として県予選を経た四国大会以上の出場者
- (2) 団体
 - 団体競技で国、県、公益財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝チーム
 - 県予選又は推薦を経た四国大会以上の出場チーム
- (3) 個人、団体を問わず国際大会出場者

【対象期間】

平成24年1月1日～平成24年12月31日の間に開催された大会

【申請書備付箇所】

生涯学習室、瀬戸公民館、三崎公民館

【問い合わせ先】

伊方町教育委員会事務局 生涯学習室
電話38-2661

伊方町小中学校 入学経費助成事業のお知らせ

【目的】

町内の小中学校に入学する児童・生徒の保護者に対して、通学用品購入経費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図ります。

【助成対象者】

町内に住所を有し、町内小中学校に入学予定の児童・生徒を養育している保護者。

【助成方法】

助成方法は、伊方町内の指定店での現物支給になります。助成額は、小学校1万円、中学校3万円を限度とします。(1回限り)

【その他】

助成対象通学用品・町内の指定店及び申請等の期限については、保護者への事前案内でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

伊方町教育委員会事務局 学校教育室
電話38-2660(直通)

伊方町社会教育委員の募集

伊方町教育委員会では、町民のご意見を各種社会教育施策に反映させるため、伊方町社会教育委員を1名募集します。応募されます方は、次の事項に留意し教育委員会本庁生涯学習室・瀬戸・三崎公民館に備え付けの「社会教育委員応募申込書」により、お申し込み下さい。多くのご応募をお待ちしています。

募集人員	募集期間	委員会の概要 委員の役割	応募資格
1名	1月7日(月) ～ 2月28日(木)	町の社会教育に関する意見・提言等 任期：平成25年4月1日から2年間 (継続あり)会議開催：年3回程度	20歳以上の町内在住者 (議員・公務員を除く)

(注) 応募の結果は、応募された方に通知します。

【問い合わせ先】伊方町教育委員会事務局 生涯学習室 電話38-2661

新春行事のご案内

三崎公民館

今年1年間、公民館事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。
 来年も新春早々、たくさんの催しを準備しております。是非ご参加いただいて1年の計を立てられてみてはいかがでしょうか。
 お問い合わせ先 三崎公民館 TEL 54-1114

健康マラソン&ウォーキング大会

- 日時 平成25年1月3日(木) 後援 伊方町体育協会三崎支部
- 場所 三崎公民館(スタート・ゴール)
- 受付 午後12時30分～
- コース 【マラソンの部】
 - ・1.5kmコース 高浦(みつき浜付近)折り返し
 - ・3.0kmコース 高浦(堀田建設付近)折り返し
 - ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折り返し
 - ・10.0kmコース 阿弥陀池を1周して折り返し
- 【ウォーキングの部】
 - ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折り返し

ドライバーの皆様
 健康マラソン&ウォーキング大会及び三崎駅伝大会時
 には選手への安全配慮をよろしくお願いします

新春書き初め大会

- 日時 平成二十五年一月七日(月) 午前九時三〇分～
- 場所 三崎総合支所 二階多目的会議室
- 講師 五島義長 先生
- 参加者持参物
 習字道具(筆、下敷きなど)
 半紙、墨は不要

第45回 三崎駅伝大会

- 日時 平成25年1月20日(日) スタート午前9時30分～
- コース 佐田岬小学校～三崎～井野浦～三崎総合体育館前
- 参加種別
 - ・中学校男子の部(5人編成)
 - ・中学校女子の部(5人編成)
 - ・高校男子の部(5人編成)
 - ・一般の部(5人編成)
 - ・一般女子の部(5人編成)
 - ・ビギナーの部(7人編成)

第2回青年学級 「レクバレー交流大会」

中央公民館

11月15日(木)伊方スポーツセンターアリーナにおいて、第2回青年学級が開催されました。

今回は、青年学級生の交流を深めるためにみんなで楽しめるレクバレー交流大会を行いました。第1回の時に参加できなかった方や新規参加の方も来てくれて新たな交流ができました。

まず、くじ引きにより3班に分かれてその場でチーム名を決めました。年齢や職場も様々な学級生ですが、優勝賞品めざして一生懸命プレイしていました。初対面の人もいる中で最初はぎこちなかったチームも、得点を重ねることにコミュニケーションもとれてきて、楽しく体を動かすことができました。より一層学級生の交流も深まったことと思います。

伊方町内に在住又は勤務しているみなさん、同年代の若者と出会い、楽しみを創造し、新たな発見をしてみませんか？

次回は、町外視察



研修を予定していますので是非参加してみたいという方は、中央公民館(38-1020)までご連絡ください。

「絵手紙教室開催!!」

町見公民館



12月8日(土)町見公民館において絵手紙グループ「のじぎく」の皆さんをお迎えして、絵手紙教室を開催しました。

今回で6回目となるこの事業は、絵手紙作品作りをとおして小学生児童や絵手紙グループ「のじぎく」会員との交流を図るとともに、絵手紙のやりとりによる友達・仲間づくり「寄与すること」を目的としています。

参加児童11名は、基礎となる筆の使い方・もち方(筆のほし)を持つ・筆の先で書く、ピリピリの線がいいや着色の方法などを絵手紙グループ「のじぎく」のおばちゃんたちに丁寧に指導していただきました。



最初に「みんななかよし」自分の手作品を全員で作ることになりました。「上手に描かなくてもいいよ。大きくな。見たままにね。」のアドバイスどおり、児童たちは、自分の手をよく観察して上手に描き上げ、最後に自分の手に感謝の気持ちを込めて一言言葉を添えて作品を完成させました。

その後、自分の描きたいりんご・みかん・にんじん・大根などを年賀状として作成しながら、楽しく交流を深めました。

この教室で出来上がった作品は町見公民館のロビーや二見公民館まつりで展示紹介する予定です。個生あふれる作品を是非、ご覧下さい。

小中学生が演劇を体験!

三崎小中体育館

12月3日(月)三崎小中体育館で演劇が行われました。

この事業は、小学校・中学校等において、一流の文化芸術団体による舞台芸術公演を行い、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的に文化庁が実施しているものです。

この日は、体育館の中に特設された舞台上で東京演劇アンサンブルにより「銀河鉄道の夜」が演じられました。

参加した小中学生は、いつもとは違う体育館の風景にまず驚き、舞台間近で演じる役者の姿や、光、音に感動している様子で、思い出に残るとても貴重な体験ができたのではないのでしょうか。



「幸せを育む すてきな人間関係を目指して」

「第8回伊方町PTA研究大会開催」

11月25日(日)三崎総合体育館において、第8回伊方町PTA研究大会が開催されました。

大会は、「幸せを育む すてきな人間関係を目指して」を研究主題に講演とパネルディスカッションの2部構成で行われ、「選択理論で育まれる親子の絆」と題して宇都宮民さん(中浦出身フリーアナウンサー)の講演の後、竹崎幸仁さん(元伊方中学校長)、武田薫さん(日本リアリティー協会松山支部長)がパネラーとして加わり、

パネルディスカッションが行われました。

今回の研究大会では、良好な人間関係を築く方法として「選択理論」という一見難しそうな内容でしたが、家庭や学校での実例等が紹介され、大変わかりやすく、参加したPTA会員は子育てをしていくうえで、参考になったことと思います。



伊方町PTA連合会 清家会長のあいさつ



パネルディスカッション



宇都宮民さん講演

ふるさとウォーク2012開催

さわやかな秋晴れの約50名が参加

11月18日(日)伊方町体育協会伊方支部主催、伊方町・伊方町教育委員会・伊方町健康づくり推進協議会の共催により、ふるさとウォーク2012が伊方地域で開催されました。

このウォークは、地域の自然の中で、歴史、文化にふれあいながら歩き、あわせて日頃の運動不足の解消、健康増進を図ることを目的に毎年コースを変更して開催されています。

今年は、九町小学校をスタートし、九町診療所前→中央農道→亀ヶ池→町見郷土館を経由して九町小学校へ帰る、約9.1kmのコースで実施されました。参加者は、みかんの樹園地が広がる中を、絶好のロケーションを満喫しながら歩きました。途中、町見郷土館で豚汁が振舞われ、元気を取り戻し郷土館を見学した後、再スタートしました。



コース沿いでは、所要所にポイントを設け、スタンプラリー、歩数当てクイズなどをし、爽やかにウォーキングしました。ゴール地点では道中詠んだ俳句の表彰を行い、各種賞品の授与が行われました。また、抽選会では当選者発表のたびに歓喜の声が上がり、楽しい一日を過ごしました。

伊方スポーツ少年団 県予選優勝 全国大会へ

12月8～9日に開催された「第6回春季全日本小学生ソフトボール大会愛媛県予選」に出場した伊方スポーツ少年団が、見事優勝し全国大会の出場権を獲得しました。

大会は、愛媛県内地区予選を勝ち上がった代表20チームが出場、トーナメント戦で争われ、1回戦から3回戦までは投手の好投で完封勝ち、決勝では投打がかみ

合い中萩JSS(新居浜市)を5対1で下しました。

伊方スポーツ少年団は現在、4、5年生が9名、2、3年生が各1名の計11名であり、小規模チームの優勝に関係者から称賛を受けていました。

3月下旬に佐賀県で開催される全国大会に愛媛県代表として出場し上位を目指します。



～ 対戦結果 ～

決勝	中萩JSS(新居浜市)	5対1
準決勝	金子スポーツ少年団(新居浜市)	3対1
3回戦	北伊予スポーツ少年団(伊予市)	6対0
2回戦	味生・味酒ソフトボールクラブ(松山市)	1対0
1回戦	五十崎ソフトボールクラブ(内子町)	9対0

愛媛スポレク祭2012

ペタンクで伊方みなとチーム優勝

10月6日～11月25日まで、県総合運動公園を主会場に開催された愛媛スポレク祭に、本町からも多くの選手が出場しました。

本町関係者の結果(上位入賞団体のみは次のとおり)。

- ▽高年齢・福祉の部
優勝 伊方みなと
3位 町見健康
- ▽ペタンク



ペタンク優勝 伊方みなとチーム

小学生相撲大会で全国大会出場

伊方小学校6年 阿部階喜くん

12月2日、東京都国技館で開催された「平成24年度ジュニアオリンピックカップ」第25回全日本小学生相撲優勝大会に伊方小6年阿部階喜くんが出場しました。

結果は、残念ながら初回戦敗退となりましたが7月に行われた「きなはいや伊方まつり」でも相撲からはじまり、8月

「インディアカ」

▽男子 準優勝 みさき

▽女子 準優勝 みさき

の県大会、四国大会を経て、全国大会出場。この5か月間、一生懸命稽古に励みました。お疲れ様でした。



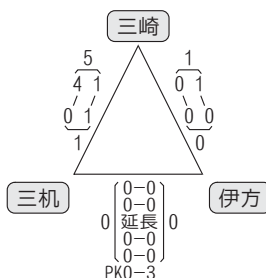
西宇和郡小学校サッカー大会開催

11月20日、三崎小

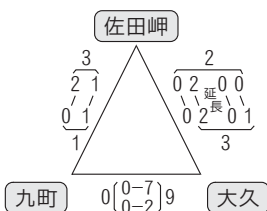
中学校グラウンドにおいて「西宇和郡小学校サッカー大会」が開催されました。今年は、Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンに分かれて試合が行われ、みなさん練習の成果を発揮し、白熱した試合が繰り広げられました。

大会結果

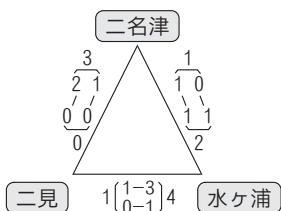
Aゾーン優勝 (三崎)



Bゾーン優勝 (大久)



Cゾーン優勝 (水ヶ浦)



多年にわたり婦人会活動に貢献

11月21日(水)、第62回えひめ婦人大会において、多年にわたり婦人会活動の推進者として活躍された、



渡邊紀代さん(小中浦)に愛媛県教育委員会教育長・愛媛県連合婦人会長連盟表彰が贈られました。

渡邊さんは、平成19年から現在まで、伊方町婦人会長を務められ、リーダーとして婦人会の発展と明るく豊かな町づくりに寄与されました。

今後とも、伊方町発展のため、一層のご活躍をお願いいたします。

学校支援ボランティア活動

文部科学大臣表彰を受賞

三崎地域の小中学校を対象に学校支援ボランティア活動を行っている、三崎中学校区学校支援地域本部が文部科学大臣表彰を受賞しました。

地域本部では、地域コーディネーターを中心として、学校と地域のみなさんを結び支援を行っており、多くの方々に、学校を支援するための学校支援ボランティアとしてご協力をいただいております。

この活動が、特に優れていると認められ表彰されたものです。



故吉田 進氏

(元伊方中学校長)

従六位を受章

平成24年9月23日にご逝去された

故吉田 進氏(松山市)に、生前、学校教育の振興及び青少年健全育成に尽くされた功績に対し、従六位・瑞宝双光章が授与され、12月17日、愛媛県庁にてご遺族に伝達されました。

氏は、昭和24年3月に西宇和郡四ツ浜村立川之浜小学校に採用されて以来、長年にわたり教育に情熱を傾け、

教諭・教頭・校長として、児童、生徒に愛情を持った指導を行うとともに、教職員の融和を図り、PTAや地域との連携強化に努められました。特に、「まごころの教育」「いのちの教育」を推進し、思いやりのある教育で周囲からも高い評価を得ました。

このように同人は、昭和63年3月31日、伊方町立伊方中学校長を退職するまで、初等教育の充実発展に取組み、義務教育の振興に寄与されました。

また、西宇和郡の先達教員として、後輩教員の指導助言に努め、西宇和郡教職員の資質向上に大きく貢献されました。

みかんツリー作り交流会

大久郵便局主催

12月6日(木)、大久小学校でみかんツリー作り交流会が行われました。

この行事は、地元特産品への理解・愛着を深めてもらおうと、地域貢献の一環として大久郵便局が主催したもので、郵便局長さんの指導の下、PTAの方々も協力し、参加した4～6年生の児童18名は、カッターナイフを使って中身を取り出した後、元の形に皮を接着剤でくっつける作業を行いました。

使用された「温州みかん」は、PTAの方が趣旨に賛同し無償提供してくださったもので、取り出した中身は、搾りたてみかんジュースにして参加者みんなで美味しくいただきました。

この日作成されたみかんは、数日間乾燥させた後、愛護班主催のクリスマス会で電球を取り付け、飾りつけを行い、大久小学校、大久郵便局に飾られる予定です。



みかんの皮を慎重に接着



中身の取り出し作業



学校通信



みかんで体験学習

3年生は、総合的な学習の時間を利用して、JA西宇和同志会の皆さんに、食農教育活動事業をしていただきました。

7月の「出前授業」では、温州みかんの歴史や西宇和みかんのおいしさの秘密(5つの太陽の恵み)、おいしいみかんの選び方など大変興味深い内容を教えていただきました。また、クイズ形式も取り入れ、青年同志会の方たちが児童の気持ちを上手に盛り上げた楽しい授業になりました。

11月初めには、中浦の林さんの農園で、みかんの収穫体験をさせていただきました。児童は、思いの外上手にみかんを取ることができていました。「大きいみかんより小さいみかんの方が甘いこと」や「木の上の方が太陽が当たっておいしいこと」などを教えていただき、はりきって収穫していただきました。7月に教室で学習したことを、みかん山で実感したことでしょう。小袋いっぱいのみかんを手にとり、児童はみんな大満足でした。

地域の専門家に学び、充実した地域学習、体験学習ができました。



みかんの収穫体験



出前事業

伊方小学校

一人一鉢菊づくり

三崎中学校

本校は「緑の少年団」に加盟し、年間を通して緑化や奉仕活動を行っています。

メインの活動は昨年度から取り組んでいる「一人一鉢菊づくり」です。

6月の挿し芽から始まり、7月に全校生徒が一鉢ずつ苗を植えます。毎日の水やりはクラスごとに当番が行いました。鉢いっぱいになる雑草を引き、定期的に追肥をしたり、台風が来るたびに鉢を避難させたり、それぞれが手入れをしました。

10月頃から赤、白、ピンクと次々にきれいな小菊が咲き始め、学校を彩ってくれました。咲いた菊は校内に飾ったりコンクールをしたりするのですが、今年度は「地域の人たちにも見てもらおう」という声があがり、周辺のいくつかの事業所に鉢を置か

せていただくことになりました。デイサービスセンターではお年寄りの皆さんが迎えてくださり、喜んでいただく姿に満足感でいっぱいになりました。また11月に行われた本校の文化祭(橋岬祭)でも校内に菊を飾り、お客様を出迎えました。

事業所の玄関先に置かれた菊、校舎のあちらこちらに置かれた菊たちは、たくさんの方に「きれいやねえ。」と言ってもらったことでしょう。花を育てる活動を通して生徒にやさしい心や奉仕の心が育つとともに、地域とのつながりを感じ、また地域にも緑の輪を広げられる、そんな活動になっています。



【事業所に掲示したポスター】





図書館だより



1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
 - 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
 祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日
 - 瀬戸・三崎地域の方へ
 瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。
- 伊方町立図書館** (伊方町生涯学習センター2階)
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地
 TEL(0894) 38-0607

新着図書

《一般書》



- 歓喜の仔 上・下巻
 /天童 荒太 著

《内容紹介》

愛も夢も奪われた。残されたものは、生きのびる意志だけだった…。父は突然消え、母は心に傷を負って植物状態となった。残された三兄妹は、誰も知らない犯罪に手を染める道を選んだ。

- 旅猫リポート /有川 浩 著
- 繚乱 /黒川 博行 著
- 月の輪草子 /瀬戸内 寂聴 著
- 沈黙のひと /小池 真理子 著
- 逆回りのお散歩 /三崎 亜記 著
- 孤愁 /新田 次郎、藤原 正彦 著
- 神去なあなあ夜話 /三浦 しをん 著
- 冷血 上・下巻 /高村 薫 著
- 噂の女 /奥田 英朗 著
- 戦国時代の余談のよだん。 /和田 竜 著
- 下に見る人 /酒井 順子 著
- 人生の旅をゆく /よしもと ばなな 著
- 思い出のとき修理します /谷 瑞恵 著
- お面屋たまよし /石川 宏千花 著

ほか

《児童書》



- おかしなゆきふしぎなこおり
 /片平 孝 写真・文

《内容紹介》

雪が降ったら、外へ出かけてみよう。あっちでもこっちでも、雪や氷がふしぎな形をしているよ。大迫力の雪と氷の世界を紹介する写真絵本。

- アンパンマンとザジズゼゾウ /やなせ たかし さく・え
- まゆげちゃん /真珠 まりこ 作・絵
- へびちゃんおしゃべりだいすき!
 /きむら ゆういち 作、ふくざわ ゆみこ 絵
- はんなちゃんがめをさましたら
 /酒井 駒子 ぶん・え
- あっちの豚こっちの豚 /佐野 洋子 作・絵
- 十二支のしんねんかい /みき つきみ 文
 柳原 良平 画
- あたしゆきおんな /富安 陽子 文
 飯野 和好 絵
- みんなみんなおばけになっちゃうぞ～
 /むらい かよ 著
- かいけつゾロリきょうふのようかいえんそく
 /原 ゆたか さく
- 〇てんにかんぱい! /宮川 ひろ 作
- りんちゃんともちもち星人 /令丈 ヒロ子 作
- 雨ふる本屋の雨ふらし /日向 理恵子 作

ほか

新しく購入した本は、図書館ホームページからもご覧いただけます。URL: <http://library.town.ikata.ehime.jp>

《検索機能が便利になりました》

図書館内にある検索機から、図書の貸出期間の延長や予約をすることができるようになりました。視聴覚資料の延長はできませんのでご注意ください。インターネットからも同じ機能を利用することができます。詳しくは、図書館までお気軽にお問い合わせください。

ピップスおはなし会のご案内

～1月のおはなし会～

日 時：12日(土)・26日(土) 午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：未就学児童および親子、小学生



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

佐田岬半島の自然 スライド上映会

1月23日(水) 19時～

今月のテーマ

「生物相にみる地球温暖化」

入場無料・お気軽にお越しください

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
開館時間 9:30～16:30
休館 月曜日ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2013年1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■—おやすみ □—夜スライド上映

企画展 海でつながる畑

— 佐田岬半島の地形と農業 —

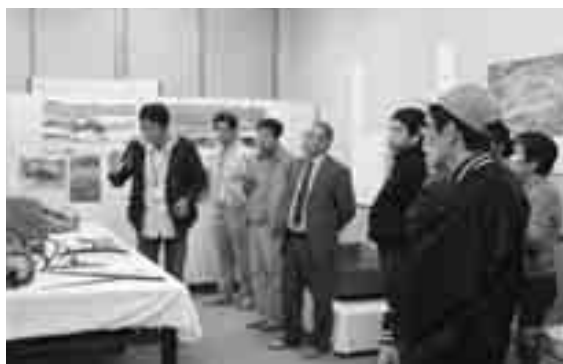
大好評開催中! 2月3日まで!

関連行事

講座「地図からみた佐田岬半島」

とき 1月20日(日) 10時～

ところ 町見郷土館



町見郷土館から

船蔵

現在町見郷土館で開催中の企画展「海でつながる畑」展では、海と切り離せない半島ならではの暮らしをご紹介しています。そこで注目したいひとつが船蔵です。

船を納める蔵—船蔵は、かつて町内各地の沿岸にあったようです。有名なのは大佐田。集落に近くと海に向かってずらりと同じような形をした家が並んでいますね—あれがかつての船蔵でした。以前船蔵を調査された松山工業高校の高須賀壽先生の論文や、地元の方のお話によれば、船蔵は2軒の家で1棟を使っている、奥行きが長く、そこに前後2艘の船を入れたそうです。また海に並んで建つことで背後の畑や家屋を海風や潮から守る

佐田岬民俗ノート

92

役割もあつたようです。

興味深いのは船の使われ方。通常は船ですから魚を獲る漁業で使うと思いがちです。もちろんかつてイワシ網など盛んな頃などは特にそうでしょう。しかし地域にもよりますが、畑に行くためとか、

畑の肥料にする藻を採るために船を使ったという話も多く、いわば農業用の船ともいえるのです!ある方いわく「ま、今の軽トラみたいなもん」…納得。まさに海とともに生きて半島ならではの暮らしを象徴するものでした。

他にも船小屋ともいうべきシンプルな建物が松漁港にあります。これも生木の根元を焼いて地中に埋めて柱とするなど建築学的にも大変貴重です。地元では単にナヤと呼んだそうですが、そのことじたい船が暮らしの一部として普通にあつた証と

いえるかもしれませんが。いずれにしても船蔵は佐田岬半島の大切にしたい宝物のひとつです。

参考文献 高須賀壽「佐田岬半島農漁村部の生活文化」ほか

松の船小屋



大佐田の船蔵





全国人権・同和教育研究大会に参加して

生涯学習室

12月1日・2日、岡山県倉敷市のマスカットスタジアムを主会場に、「第64回全国人権・同和教育研究大会」が開催された。

大会は、「全同教」初の野外での全体会の開催。「思い切ったことをやるな」と思いながら、会場へ足を運び、当日は時折、小雨が降り寒さが身にしみる中、防寒着に身を包み全国から約1万人がマスカットスタジアムに集まった。研究協議の分科会等の実践報告は118本を数え、各会場で同和問題をはじめとするすべての人権問題の解決を目指して、熱い議論・交流・意見交換がなされた。

開会式は、地元の中学生によるアトラクションの後、「灯した炎を燃やし続けたい」人権の学びを深めることとで」と題し、地元教員による熱い思が報告された。

ムラ(被差別地区)出身の教員の彼女。母親からの「あんたも、いつか差別に合うかもしれない。しっかり勉強して差別に負けん強い子になってほしい。」「あんたがちゃんとしてたら大丈夫。」「この二つの言葉を胸に過してきたが、大学生活では大人のタテマエとホンネの世界を知り、教員となってから自分の思いと現実とのギャップに自分を失いかけていた。それでも、たくさんのと人たちとの出逢いの中から、同和教育を本気

でやっている人たちと接し、「差別は自分から遠い離れたところで起きている話ではない。すぐ隣に、クラスの中に今しんどい思いをさせられている人や子供がいるのだ。」という現実から出発するという原点をしっかりと繋いでゆくことが役割だと述べた。その力強い語りは、寒いスタジアムに参加者への熱いメッセージとなって心に響いた。

午後そして2日目は分科会に参加し、それぞれの立場で実践報告がされた。部落差別・障害者差別等、そして一般企業からの報告もあり、終始熱い議論が交わされた。そして最後の総括の中で出された意見で、「部落問題を知らずして行政マンとは言えない」、「被差別地区対象地区内外を問わずに対等の立場で土俵に上がっているか」、「部落差別がある以上職場や話し合いの中で、「言っているタメ」的な状況があるよつでは進歩はない」、「被差別地区の人たちも同和問題以外の問題提議から何かを吸収することも大事である」、これらの意見が非常に印象に残った。

今回の大会で新たな発見や出会い、感動があった。当然、人はそれぞれ考えや思いは違う。しかし、幸せになりたいと願いは誰もが持っている。今回のこの思いを胸に、これからも人権教育に関わっていききたい。



※水中ウォーキング※

・泳げない方、水が苦手な方参加してみませんか？水の特性を利用して水中ウォーキングを楽しみましょう。

日時 1月10日(木) 14:30~15:00
場所 伊方スポーツセンター温水プール
料金 1回500円
定員 先着15名

※大人の水泳教室※

・初心者を対象にクロールの基本練習を行います。

日時 1月24日(木) 19:30~20:30
場所 伊方スポーツセンター温水プール
料金 1回500円
定員 先着10名

お問い合わせは、伊方スポーツセンター
電話38-1100または38-0776へ

サーキットトレーニング

日時 (10期) 1月9・16・23・30日
(11期) 2月6・13・20・27日
19:00~20:20
場所 伊方スポーツセンター3階トレーニング室
内容 有酸素運動と筋力トレーニングを交互に行うことで、脂肪燃焼し、代謝を高めます。また、バランス、体幹トレーニングなども行います。
料金 2000円/1期(4回コース)
曜日 毎週水曜日
定員 先着15名

♪初心者ヨガ♪

日時 1月22日(火) 19:10~20:00
場所 伊方スポーツセンター3階会議室
料金 1回 200円
定員 先着15名

☆内容☆

・ゆっくりとした動きのヨガを行い代謝を高めます。初めての方、体の硬い方でも大丈夫です。

報 文 芸

俳句

伊方俳句の会

名月や浦に鎮座の六地藏

上田益男

街路樹の落葉踏む音途絶へざ

木戸悦子

みかん積み下る坂道暮早し

篠川勝子

五ツ鹿の警護で孫の晴れ姿

宇都宮法子

敷紅葉風車ゆっくり廻りをり

渡辺日出子

又もこの話にもどる秋夜長

梶谷千代子

シーザが秋の日差しに笑って

門田千枝

日の出待つ蜜柑に響く鳥の声

石井義夫

亀ヶ湯の柚の香りや友想う

山崎美喜

年新た朝日に光る大風車

二宮寿賀子

爽やかや祭りの朝の鹿の音

宇都宮睦子

色変えし師走の海や友見舞ふ

上田サチエ

友禅の絵柄に染めし蔦紅葉

上田幸香

時雨るるや春告げ鳥が庭に来

井上良枝

柿剥いで話しの弾む老仲間

田中初子

初日の出神社で出会う君なり

上田文男

師走入り頭上の蜜柑取り急ぐ

足利敦子

柿たわわ山野の家は事もなし

浅井ミドリ

日向灘国境もなく天高し

福岡博

亡き父の教え完了年の暮

井上幸子

荒れし世に荒れぬ子ら居て空

佐々木 煦

澄める

佐々木サチ子

あわただし師走横目にわれ句

岡本 登

想

金といふ文字には無縁去年今

年

北 英二

小春日や旧師と巡る史跡かな

吉見福子

北斗の会

九十五の母の肩揉む夜長かな

伊藤植美

何となく似た人過ぎし秋の暮

井上奈津子

薦巻かれ庭園の松冬支度

佐々木順子

小春日や欲望捨てしわが余生

藤村富士子

あみだ句会

あたたかく添えられし供華秋

の墓

弟逝く晩秋の月細き夜に

阿部ヨシ子

気にかかる音なき友の喪のは

がき

山眠る心満たさる里の彩

松本光子

一時雨海に短かき虹立ちぬ

宮部タミエ

妻病みてやっと二連の吊し柿

高月 仁

文化祭作業所の品お買上げ

玉里宏子

熱爛や閉館近き出湯の宿

木原敬明

恩師逝く偲びて咲くや菊の庭

池井為吉

見遊館より

紙コップ人形を作りました！

1月19日(土) 午後2時から、紙コップ人形を作りました！
参加される方は当日時間までに、3階見遊館にお越し下さい。
参加費：無料



映画上映会のご案内

1月12日(土) 3階見遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場 所 見遊館内、集会室
作 品 名 はじめましてトーマス

～おおきなきかんしゃ
ヘンリーとゴートン～

上映時間 1回目 10:00～10:50
2回目 15:00～15:50



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-0211 (内線856)